

同期信号を音声出力できる



GNSS

業務用ナビゲーション開発テンプレート

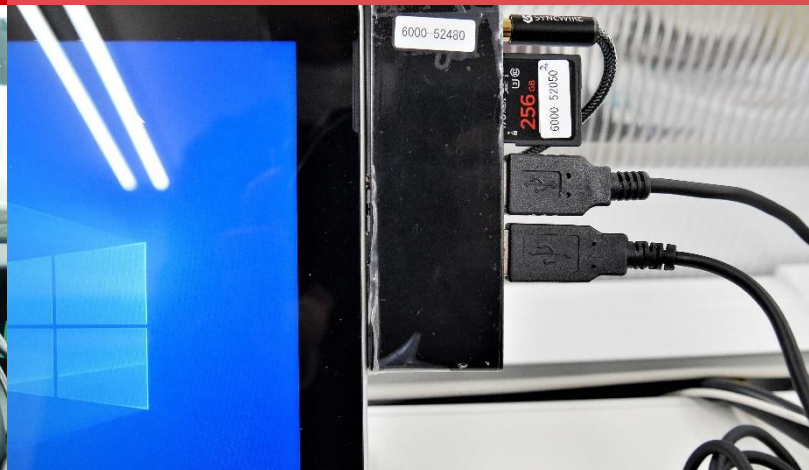
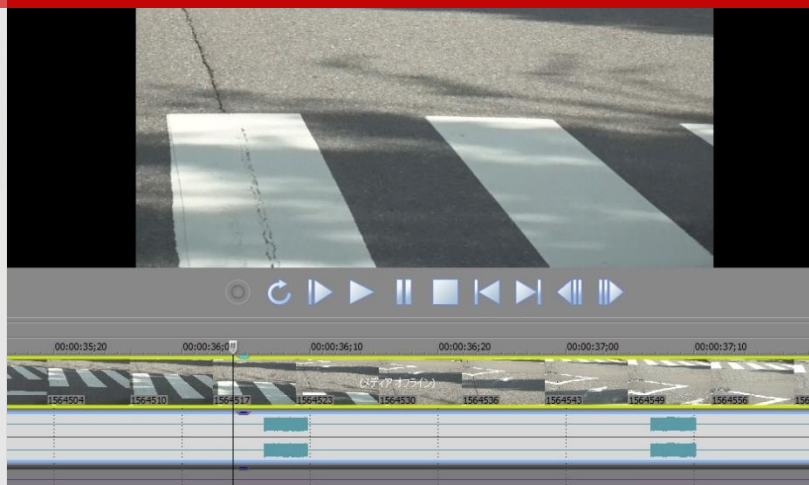
BeatBox

for Windows

先行公開

(株)マップル

業務用カーナビSDK

Windows 10 Tablet Microsoft
Surface GO古野電気 自律航法GNSSモジュール
PT-G1ロガーのGPXデータと同期するための
同期音声の録音

GNSS-BeatBox は、GPSセンサーから取得する世界標準時と緯度経度情報をGPXに記録し、シリアル番号を“どんなカメラにも入力できるアナログの音”に変換して、ビデオカメラ内に映像と同期音声を記録する、**GNSSの鼓動を音声の同期信号に変換するGNSSデータロガーアクセサリ**です。
株式会社マップルの業務用カーナビSDKによって、業務機能のカスタマイズを行うことで、多種多様な巡回点検に対応します。

同期音声とGPXログを、別提供の同期ツール“GV-Sync”で処理することで、動画の各フレームに下記情報を付与します。

時刻 緯度経度 シリアル番号 ユーザーがゲームパッドで入力したキー情報

※ マルチカメラを使った撮影で、同期音声を分配することで、全てのカメラの動画に同期用シリアル番号を埋め込みます。

機器構成 (例)

- 本体：Microsoft Surface GO (Surface用キーボード)、Surface用USBハブ、3.5mmミニプラグ音声ケーブル、ラインフィルター、ゲームコントローラ、ログ記録用SDカードまたはUSBメモリ、車載用12VシガライターDC/ACコンバータ
- ソフトウェア：マップル業務用カーナビ実行時ライセンス、GNSS-BeatBoxソフトウェア
- GNSSセンサー：古野電気PT-G1 ※PT-G1は車両への取り付けが必要です。

動画で撮影した構造物や設備に、正確な位置情報を付けられたら？
…と思ったことはありませんか？



- GPS機能を搭載したアクションカメラはあるが位置精度があまり良く無い。
- ドラレコを使っているが静止画にした時の解像度が足りない。もっと細かなところを見たい。
- カメラ同士を同期する仕組みはあるが、位置と同期できていない。
- 位置の取得はGPS電波不感地帯でも動作する自律航法を使いたい。

無いから作りました



GNSS-BeatBox は、進歩が著しい車載用自律航法GNSSのイノベーションと、市販されている4K動画カメラのイノベーションと、低価格になったタブレットPCのイノベーションを、組み合わせることで実現しました。

自律航法：車のセンサーを活用した自律航法GNSSセンサーでビル群やトンネル内、山間地などGPS電波不感地帯でも位置取得が途切れない。

安価・高機能：市販の“安価”で“高機能”なビデオカメラとMicrosoft® Surface GOなどの安価なWindows10タブレットを利用。

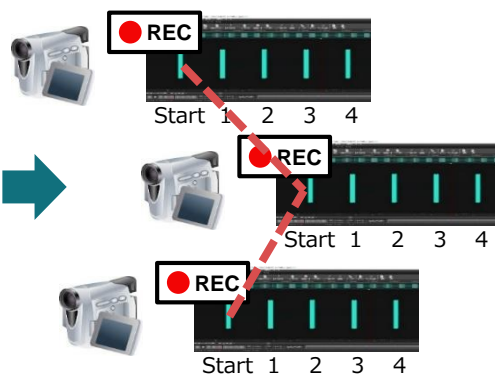
汎用性：データロガーはGPX 1.1拡張フォーマットに対応。取得した位置情報は、Q-GISなど多くのGISシステムで利用可能。

拡張性：拡張フォーマットに、ゲームパッドからの入力やセンサーの値を同時記録可能。目視点検時の気付き情報の入力に活用ください。

音声変換



音声記録



音声同期



GPX1.1ログ

```
<serial>1</serial>  
<datetime>...<datetime>  
<latlon></latlon>
```

本パンフレット内に記載されている社名・製品名等は各社の登録商標です。

お問い合わせ先 ナカシャクリエイティブ株式会社 上田 m-ueda@nakasha.co.jp 戸倉 t-tokura@nakasha.co.jp
Tel (052)228-8744 <http://www.nakasha.co.jp>

企画・設計

ナカシャクリエイティブ株式会社

開発

株式会社マップル

令和2年度 商業・サービス競争力強化連携支援事業（新連携支援事業）20200421中部第33号